

発行：日本社会病理学会

事務局：〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96

佛教大学 日本社会病理学会事務局

TEL 075-491-2141 (代) FAX 075-493-9032

URL <http://socproblem.sakura.ne.jp>

e-mail: [shabyori@gmail.com](mailto:shabyori@gmail.com)

郵便振替口座：00170-4-56341

編集責任者：作田誠一郎（庶務理事）

### 【目次】

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 1. 第41回大会開催校挨拶          | 2  |
| 2. 第41回大会のご案内（研究委員会より）  | 2  |
| 3. 編集委員会からのお知らせ         | 6  |
| 4. 渉外・広報委員会からのお知らせ      | 6  |
| 5. 2025年度臨時理事会報告（議事抄録）  | 8  |
| 6. 2025年度第1回理事会報告（議事抄録） | 8  |
| 7. 2025年度臨時理事会報告（議事抄録）  | 9  |
| 8. 会員の新刊図書紹介コーナー        | 9  |
| 9. 会員異動                 | 9  |
| 10. 事務局より               | 11 |

### 重要事項

1. 第41回大会では、大会参加費ならびに懇親会参加費の事前申込・事前決済をお願いしております。**9月19日（金）までに、本レター内のQRコードもしくは、本レター及び学会ウェブサイト記載のURLリンクより、忘れずにお申し込みをいただくようお願い申し上げます。**
2. 第41回大会では、本年度は紙媒体のプログラム・報告要旨集は発行いたしません。オンライン版のプログラム・報告要旨集は、日本社会病理学会ウェブサイトにて8月末～9月初旬に公開予定です。
3. 末尾に「学会 出席・発表のための出張扱いについて（ご依頼）」を添付しております。ご活用下さい。

## 1. 第 41 回大会開催校挨拶

第 41 回大会実行委員長 田中智仁（仙台大学）

日本社会病理学会第 41 回大会を仙台大学・船岡キャンパスで開催させていただくことになり、大変光栄に存じます。至らない点があろうかと思いますが、大会期間を快適にお過ごしいただけるよう努力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

仙台大学は 1967 年に開学した体育系の大学で、現在は 1 学部 6 学科に約 2,500 名の学生が在籍しています。大学として半世紀以上の歴史を刻んでいますが、母体の朴沢学園は、1879 年に創立された松操私塾という裁縫学校です。宮城県内最古の私学として、多くの卒業生を輩出してきました。それだけに、明治から令和に至るまでの多様な社会病理現象に直面し、危機を打開してきた歴史もあります。東日本大震災はもちろん、第 41 回大会のシンポジウムのテーマである「戦争」も大きな災厄でした。ぜひ、本学園の歴史に思いを馳せつつ、活発な議論を展開してください。

さて、「仙台大学」と聞いて、東北地方最大の都市・仙台を思い浮かべることと存じますが、皆様をお招きする船岡キャンパスは、仙台駅から電車で約 30 分の内陸郡部にございます。仙台空港からも電車を乗り換える必要があり、ご面倒をおかけします。電車は 1 時間に 2 本しかなく、さらに船岡駅からキャンパスまで徒歩 15 分程度を要しますので、時間に余裕をもってお越しください。船岡にはビジネスホテルが 2 軒（ホテル原田 in さくら、ビジネスホテル一太郎）ありますので、ご利用をおすすめします。不便な立地ではございますが、山本周五郎の名作『樅ノ木は残った』の舞台として、春は桜の名所として有名な地でもあります。のどかな風景を車窓から眺めつつ、お越しいただければ幸いです。

また、体育系の大学ですので、週末でもグラウンドや体育館で活発にクラブ活動が行われていると思います。少し騒々しいかもしれませんが、活気あふれる学生の姿をあたたく見守っていただけると嬉しいです。

仙台大学で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

## 2. 第 41 回大会のご案内（研究委員会より）

### 第 41 回大会（仙台大学）開催にあたって

#### (1) 今大会の概要

第 41 回大会は、東北での開催となりました。ちょうど 10 年前に岩手大学で開催して以来です。仙台大学は大都市仙台の郊外に位置していますが、仙台市までの交通は鉄道でも空路でも、また道路でも海路でも便利なところ。普段は、大都市で暮らしている会員のみなさまも、この機会にぜひ穀倉地帯である東北の風景に触れてください。

大会プログラムには 2 つの大きなイベントである「テーマセッション」と「シンポジウム」が含まれ、また今回は、学会の活力ともいえる自由報告も充実していて、近年では最多の 14 本を数え、その内容也多岐にわたっています。詳しくは、近々ホームページにて公表される「第 41 回大会プログラム・報告要旨集」をご覧ください。

本年度は 3 年任期の理事選挙の実施年にあたり、現体制の研究委員会が企画する 3 年目の節目の大会です。現委員会では 2 大企画を用意しました。いずれも、会員の皆さまが、テーマセッションやシンポジウムの後半の質疑や討議に加わっていただくことを期待するテーマとなっています。

## (2) 2つの企画について

### ①テーマセッション 「社会病理学の有用性、有用性の社会病理学——若手・中堅研究者の考える研究の意味」

「文系学問は社会の役に立たない」といった見方にどのように対峙できるかについて、社会病理学に関わる若手・中堅研究者の考える「研究の意味」を補助線として考えてみたい。社会病理学がいかに関社会の役に立っているか、すなわち社会病理学の有用性を主張する方途を模索する議論もありうるし、何が有用かをめぐるコンフリクトに目を向ける視点も重要だろう。あるいはまた、世の中にあふれる「有用性」という切り口自体の抱える問題性をえぐり出す視角もありうると思われる。一定の結論を得ることを目指すというよりは、有用性概念を軸に、私たちの学的営為（とりわけ社会病理学のそれ）の再帰性（reflexivity）について省察（reflection）することが、本セッションのねらいである。

【登壇者】今井聖会員（琉球大学）、樋口くみ子会員（岩手大学）、堀内翔平会員（京都大学）

【コメンテーター】中森弘樹会員（立教大学）【企画・進行】岡邊健会員（京都大学）

### ②シンポジウム 「終戦 80 年企画 戦争の社会病理」

戦争に関連する研究の実例は多岐多様である。そこで本シンポジウムでは、戦争の被害・犠牲に焦点を当てた調査や実証研究をベースとしつつ、社会病理学としての立ち位置や展望について、全体で討議できる流れとしたい。戦争に国民を動員したことにより、動員された兵士も徴用された軍属も動員された学徒も犠牲となり、アジア・太平洋諸国でも多大な犠牲がもたらされ、植民地国や被侵略国において多くの女性や子どもも被害を受け犠牲となった。戦地となった沖縄でも多大な犠牲があり、長引く戦争で、艦砲・空襲、原爆投下などにより、多くの国民も犠牲となった。犠牲には、加害の犠牲も被害の犠牲もあり、餓死、集団死、性暴力も含まれ、これらの犠牲は地域に偏在している。このほか兵士の精神的ダメージ・戦争トラウマなど関係性や精神に焦点をあてるとさらに幅広い研究もうかがえる。

戦争に関する諸論に目を転じると、戦争＝病理という視点でない学問も少なくない。勢力均衡論、政治地理学、合理的選択論、軍事戦略論などもこの例になるのではないか。そこであらためて、社会病理学がどのように戦争を主題とするかが問われる。

【登壇者】広瀬卓爾氏（佛教大名誉教授、浄土宗平和協会理事長）、古橋綾氏（岩手大学）、麦倉哲会員（岩手大学名誉教授）

【コメンテーター】相良翔会員（埼玉県立大学）【企画・進行】麦倉哲会員（岩手大学名誉教授）

## (3) 事前申込のお願い

大会参加には、事前申し込みが必要です。田中智仁会員・理事が大会実行委員長として、みなさまをお迎えします。会場はゆったりとして滞在しやすく、会員控室では会員相互の交流もでき、また恒例の懇親会もキャンパス内で開かれますので、こちらもぜひお申込みください。詳しくは学会ホームページもしくは後掲「の URL にアクセスをお願いします。

#### (4) 日本社会病理学会第 41 回大会 概要

開催校 仙台大学  
会 期 2025 年 9 月 27 日（土）～28 日（日）  
会 場 仙台大学船岡キャンパス（宮城県柴田郡柴田町）  
参加費 【会 員】 一般：2,000 円／大学院生：1,000 円  
【非会員】 一般・大学院生：2,000 円／学部生：無料  
懇親会費 一般：6,000 円／大学院生：4,500 円  
弁当（お茶付）代 1,000 円（2 日目のみ。土曜日は近隣飲食店等をご利用ください）

#### ※大会参加費等の事前納入について

今回大会でも、受付業務を最小限にするため、ご参加にあたり、大会参加費ならびに懇親会参加費・弁当代（2 日目のみ）の事前申込・事前決済をお願いしております。9 月 19 日（金）を期限に、下記のリンクよりお申し込みください。

なお、受付では大会参加費と懇親会参加費を分けた領収書をお渡しする予定です（公印省略）。懇親会と 2 日目お弁当代につきましては、懇親会チケットの欄で、いずれかの組み合わせをご選択ください。

**\* 参加費等は事前支払のみいたします（当日支払は不可）。以下のリンクよりお申し込みください。**

<URL> <https://kokc.jp/e/98e596ddfb0f4d3a3ab1e7ffd8c4e2f2/>

<QR コード>



#### (5) 日本社会病理学会第 41 回大会 日程

※会員控室は B 棟 104 教室です。

第 1 日 9 月 27 日（土）

10:00～11:00 現理事会（B 棟 201 教室）  
11:00～12:00 新理事会（B 棟 201 教室）※入れ替え制のため同じ教室  
12:00～ 受付開始（B 棟 104 教室前ロビー）  
12:45～12:50 開会式（B 棟 103 教室）  
13:00～14:00 自由報告部会 I・II（B 棟 101 教室・B 棟 102 教室）  
14:10～17:10 テーマセッション（B 棟 103 教室）  
17:10～17:50 総会（B 棟 103 教室）  
18:00～19:50 懇親会（D 棟 25 記念館・学生食堂）

第 2 日 9 月 28 日（日）

10:00～12:00 自由報告部会 III・IV（B 棟 101 教室・B 棟 102 教室）  
13:00～16:00 第 41 回大会シンポジウム（B 棟 103 教室）  
16:00～16:15 閉会式（B 棟 103 教室）

(6)会場までの交通案内 (<https://www.sendaidaigaku.jp/about.html?name=access> より)



・仙台駅から JR 東北本線上り線（大河原・白石・福島行きなど）に乗車、船岡駅下車徒歩 15 分（仙台駅～船岡駅 31 分）

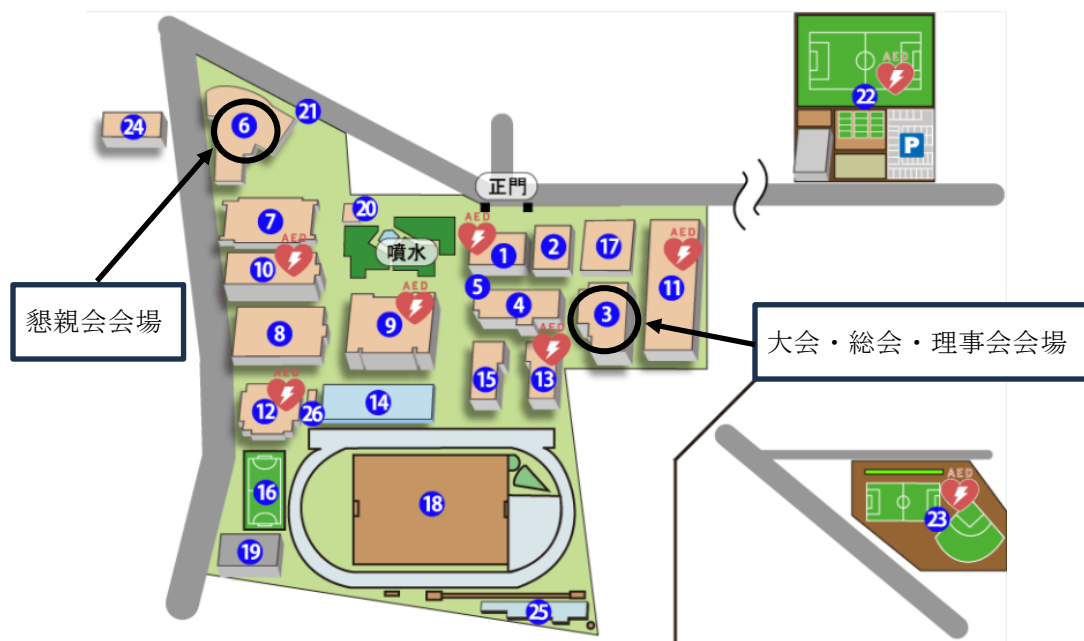
・仙台空港駅から仙台空港アクセス鉄道で名取駅まで（約 10 分）、名取駅から JR 東北本線上り線（大河原・白石・福島行きなど）に乗車（約 18 分）、船岡駅下車

※ご注意※

「仙台大学」の名称から、JR 仙台駅よりタクシーを利用される方がおられますが、本キャンパスは、JR 仙台駅より南方約 30km、在来線で所要時間約 30 分の地点にありますので、新幹線等で仙台駅からお越しの際は、仙台駅にて乗り換え、在来線で船岡駅までおいでください。

※その他情報も学会ホームページ (<https://socproblem.sakura.ne.jp/congress/congress41.html>) をご確認ください。

(7)学内地図 (<https://www.sendaidaigaku.jp/about.html?name=access> より)



### 3. 編集委員会からのお知らせ

1. 機関誌『現代の社会病理』への自由論文投稿を希望される方は、2026 年 1 月末日までに、編集委員会あてのメールアドレスに、論文の表題（仮題で結構です）を添えて、ご連絡をお願いします。編集委員会あてのメールアドレスは、編集委員会が立ち上がり次第、学会 HP に掲載いたします。

なお、投稿原稿の締め切りは 2026 年 2 月末日必着です。投稿を希望する際は、前年 12 月までに会員資格を有することが必要です。入会に関しては、学会 HP を参照してください。多くの会員からの投稿希望の連絡をお待ちしております。

2. また、引き続き次号でも「国際会議参加報告」を募集することにします。分量は 2 ページ以内です。2024 年 4 月以降に開催の国際会議に参加し、参加報告の執筆を希望する会員は、同じく上記メールアドレスまでご連絡ください。連絡の締切日は自由投稿論文希望締切日（2026 年 2 月末）と同じとします。国際会議の開催場所は国外・国内を問いません。但し、同一の国際会議に参加して参加報告を希望する者が複数いた場合は、編集委員会の方で調整しますことを、あらかじめご了承ください。

3. 新たに、査読要項（2025 年 6 月改訂）を学会 HP に掲載しました。投稿を希望される方はご覧ください。

4. 現在、機関誌『現代の社会病理』40 号の編集作業が進行中です。学会大会までの刊行をめざしています。

（編集委員長 山本努）

### 4. 渉外・広報委員会からのお知らせ

1. 国内学会大会（掲載は日程の早い順）

◎日本心理学会第 89 回大会

日程：2025 年 9 月 5 日（金）～7 日（日）

会場：東北学院大学五橋キャンパス（ハイブリッド開催）

URL：<https://psych.or.jp/meeting/meeting/>

◎日本司法福祉学会第 25 回全国大会

日程：2025 年 9 月 27 日（土）～28 日（日）

会場：龍谷大学深草キャンパス

URL：<https://jslfss.org/convention/information.html>

◎日本社会福祉学会第 73 回秋季大会

日程：2025 年 10 月 4 日（土）～5 日（日）

会場：同志社大学今出川キャンパス

URL：<https://www.jssw.jp/event/conference/>

◎日本犯罪社会学会大会第 52 回大会

日程：2025 年 10 月 11 日（土）～12 日（日）

会場：中央大学茗荷谷キャンパス

URL：<http://hansha.daishodai.ac.jp/index.html>

◎日本社会学会第 97 回大会

日程：2024 年 11 月 15 日（土）～16 日（日）

会場：一橋大学

URL：<https://jss-sociology.org/meeting/20241118post-17099/>

◎日本更生保護学会第 14 回大会

日程：2025 年 12 月 6 日（土）～7 日（日）

会場：国士舘大学世田谷キャンパス

URL：<https://www.kouseihogogakkai.jp>

2. 国際学会大会（掲載は日程の早い順）

◎ヨーロッパ犯罪学会（ESC）第 25 回大会

日程：2025 年 9 月 3 日（水）～6 日（土）

会場：ギリシャ、アテネ

URL：<https://www.esc-eurocrim.org/>

◎アメリカ犯罪学会（ASC）2025 年大会

日程：2025 年 11 月 12 日（水）～15 日（土）

会場：ワシントン DC

URL：<https://asc41.org/events/asc-annual-meeting/>

◎アジア犯罪学会（ACS）第 16 回大会

日程：2025 年 12 月 3 日（水）～5 日（金）

会場：オーストラリア、ブリスベン

URL：<https://www.criminology.asia/acs/#/conference>

3. その他

- ・社会学系コンソーシアムの Web サイトが 2024 年 9 月にリニューアルされています。新しい URL は <https://jconso.jimdofree.com> です。こちらから、加盟学会の開催状況等を随時ご確認ください。
- ・2025 年度の日本犯罪関連学会ネットワーク幹事学会は、2024 年度に引き続き日本犯罪社会学会です。本学会は 2028 年に 3 度目の幹事学会を務める予定です。
- ・日本犯罪社会学会より、2020 年、2022 年に引き続き、犯罪学の普及を目的とした、第 4 回講座「犯罪学」が 9 月 13 日（土）～15 日（月・祝）の日程で、立教大学池袋キャンパスを会場に実施される旨、ご案内がございました。詳細はこちら <http://hansha.daishodai.ac.jp/topics/index.html> からご確認ください。ただし、先着順につき、受付が終了されている場合がございますので、悪しからずご了承ください。

（渉外・広報委員会 竹中祐二）

## 5. 2025 年度臨時理事会報告（議事抄録）

1.日時：2025 年 3 月 23 日（日）19:00～21:00

2.場所：Zoom を利用したオンラインミーティング

3.出欠：出席者 10 名（金子雅彦、桑畑洋一郎、作田誠一郎、高野和良、竹中祐二、田中智仁、中村正、中森弘樹、麦倉哲、山本努）で定足数を満たした。

### 4.議題

#### ①リポジトリ収載の件

作田事務局長より説明がなされ、公的資金による学術論文等のオープンアクセス化を視野に入れながら、検討が行われた。

#### ②事務局移転の件

中村会長より説明がなされ、2025 年度に行われる理事選挙を念頭に置きながら、検討が行われた。

#### ③査読ならびに編集委員会の対応について

山本編集委員会委員長より説明がなされ、査読のあり方等について検討が行われた。

#### ④その他

ニューズレターに記載の学術奨励に関する内容についての会員からの質問について、対応の確認・検討が行われた。

### 5.報告

①麦倉研究委員会委員長より、第 40 回大会の振り返りに関して報告がなされた。

（庶務理事 竹中祐二）

## 6. 2025 年度第 1 回理事会報告（議事抄録）

1.日時：2025 年 6 月 8 日（日）19:00～21:00

2.場所：Zoom を利用したオンラインミーティング

3.出欠：出席者 10 名（金子雅彦、桑畑洋一郎、作田誠一郎、高野和良、竹中祐二、田中智仁、中村正、中森弘樹、麦倉哲、山本努）で定足数を満たした。他に、清水新二学術奨励賞選考委員会委員長が陪席した。

### 4.議題

#### ①学術奨励賞の選考結果について

清水委員長より、研究奨励として 3 件、出版奨励として 1 件のエントリーがあった旨の報告がなされた。その後、応募のあったそれぞれの内容について、委員会での選考評が報告された。

委員長からの報告内容に沿って、学術奨励の可否について理事会で議論がなされ、決議された。

#### ②機関誌の査読者要項の件

山本編集委員会委員長より説明がなされ、査読者要項の修正案について決議された。

#### ③第 41 回大会開催要項について

麦倉研究委員会委員長ならびに中森理事より説明がなされ、大会日程ならびにテーマセッションおよびシンポジウムの準備進捗状況等について確認が行われた。

#### ④選挙管理委員会委嘱の件

桑畑庶務部理事より説明がなされ、選挙管理委員会の委嘱について、提案の通りに決議

された。

⑤事務局移転の件

中村会長より説明がなされ、2025 年度に行われる理事選挙を念頭に置きながら、検討が行われた。

⑥入会・退会希望者の承認の件

作田事務局長より、1 名の入会申し込みがあったことが報告され、全会一致で承認された。その他、会費未納による資格喪失者について、合わせて確認が行われた。

5.報告

①作田事務局長より、最新の会員数が報告された。

②金子会計部理事より、2024 年度会計決算の状況が報告された。

③山本編集委員会委員長より、機関誌作成作業の進捗状況が報告された。

④竹中渉外・広報委員会委員長より、この間の業務についての説明が行われた。

(庶務理事 竹中祐二)

## 7. 2025 年度臨時理事会報告（議事抄録）

1.日時：2025 年 8 月 3 日（日）～8 月 15 日（金）

2.場所：メール審議

3.議題

①入会希望者の承認の件

作田事務局長より、2 名の入会申し込みがあったことが報告され、必要な確認手続を経て、2 名の入会が承認された。

## 8. 会員の最新図書紹介コーナー

\*事務局では、会員による新刊書の情報をお待ちしております。

\*自薦・他薦を問わず、新刊書の情報をお持ちの会員は、事務局までご一報下さい。

今井聖著『子どもの自殺問題の社会学—学校の「責任」はいかに問われてきたのか』勁草書房 2025 4,400 円

松浦優著『アセクシュアル アロマンティック入門—性的惹かれや恋愛感情を持たない人たち』集英社 2025 1,100 円

神原文子著『子どもの人権を尊重するって、どうするの?』解放出版社 2025 2,420 円  
ロバート・J. サンプソン、ジョン・H. ラウブ著／相良翔・大江将貴・吉間慎一郎・向井智哉訳『犯罪へ至る道,離れる道—非行少年の人生』ちとせプレス 2025 4,620 円

## 9. 会員異動

※個人情報につき Web 版では削除※

## 10. 事務局より

### 1. 過去の「大会プログラム・要旨集」の収集について

事務局では、保管用と今後の学会ウェブサイトへの掲載のために、現在手元がない以下の「大会プログラム・要旨集」のバックナンバーを探しています。会員の皆様の中で、下記の「大会プログラム・要旨集」をお持ちの方は、ぜひ事務局にお知らせ下さい。寄付あるいは一時的な貸与をお願いします。貸与していただいた場合は、複写した後にご返送させていただきます。

・ 1985～1988 年（第 1～4 回大会）

### 2. 会費のお支払いについて

年会費の支払いには、専用の振込用紙をご使用下さい。また、過年度分の会費を未納の方も同封の振込用紙をご使用下さい。会費のお支払いの際は以下の諸点にご注意下さい。

(1) 会費は 7,000 円です。ただし、「大学院に在籍する者の会費は、当該会員の申請により、理事会の定めるところによる」（会則第 19 条 2）という規定にもとづき、大学院生の会費は 5,000 円として本人の申請によります。大学院に在籍する会員は、振込用紙の通信欄に、在籍する①大学院研究科の名称、②課程、③学年、を明記して申請して下さい。なお、申請は毎年度行して下さい。この記載がなく 5,000 円が振り込まれた場合は、2,000 円不足として処理します。

(2) 会則第 19 条 1 には、たとえば外国籍会員の経済事情等の特別の事情がある場合、理事会の議を経て会費を減免できるという規定があります。減免を希望する会員は、減免を申請する旨とその理由を簡単に記した書面を事務局までお送り下さい。理事会で申請が認められると、会費が機関誌代だけに減免されます。理事会の審議の結果は事務局よりお知らせします。

(3) 2011 年度から終身会員の制度が定められました。日本社会病理学会の通常会員歴が 15 年以上で 70 歳以上の方が対象となります。終身会費として 5,000 円の納入で、会員資格を継続することができます（ただし、機関誌 1,500 円は実費購入）。終身会員を希望される会員は学会事務局に所定の申請文書を提出して、理事会の承認を得る必要があります。

(4) 会費を所属機関から直接お支払いいただく場合は、必ず会員の個人名を付記して下さいようお願いいたします。個人名の記載がない場合、入金処理ができないことがあります。

### 3. 所属・住所の変更について

所属・住所などが変更になりましたら、必ず書面（はがき・ファックス・E-mail 可）にて事務局までお知らせ下さい。事務局の連絡先は学会ホームページ（<https://socproblem.sakura.ne.jp/info/adress.html>）をご確認ください。

### 4. 入会申し込みについて

事務局では常時、入会の申し込みを受け付けています。学会ホームページ（<http://socproblem.sakura.ne.jp>）からダウンロードできます。なお、身近に推薦者がいない場合は事務局にご相談下さい。

以 上

2025 年 8 月 25 日

殿

日本社会病理学会  
会長 中村 正  
(公印省略)

学会 出席・発表のための出張扱いについて (ご依頼)

日本社会病理学会では、来たる 2025 年 9 月 27 日 (土) ・28 日 (日) に、仙台大学 (宮城県柴田郡柴田町) において、日本社会病理学会第 41 回大会を開催いたします。

つきましては、本大会に出席・発表する下記会員について、出張扱いその他のご便宜をお取り計らいくださいますようお願いいたします。

記

1. 氏 名
2. 所 属
3. 発表題目

\* 公印が必要な会員におかれましては、事務局までご連絡下さい。